

16年間の日本生活で私が経験したこと

川村スナン

私は2009年にタイから日本へ来ました。来たばかりの頃は日本語でのコミュニケーションがほとんどできませんでした。

最初は自分で日本語の勉強を始め、KIRAでも4か月ほど日本語を学びました。

ちなみに、水谷豊が出ている「相棒」というドラマが好きで、これも日本語の勉強に役立ちました。

少しずつ話せるようになってきたので、仕事を探し始め、川間にあるお菓子工場で働くことにしました。

2011年の東日本大震災の時、工場で仕事をしていたのですが、あれほど大きな揺れを経験したのは、生まれて初めてで、本当に驚きましたし、とても怖かったです。

電車も止まってしまい、工場から家に帰る事ができない状態でしたが、運よく、送迎バスの運転手さんが、夫の両親の家の近くに住んでいるということで、そこまで送ってくれました。

私の夫は、ちょうどタイに出張していた為、私を助けることができず、お互いに心配な時間を過ごしました。

その震災の年の11月に初めての出産をしました。その際は、あまりの痛みに、病室から逃げ出そうとしました。「もう二度と出産はしたくない」と思いましたが、4年後に二人目の子供を大阪で出産しました。

夫の転勤で大阪に行くことになったのですが、妊娠7か月目の大きなお腹で、引っ越しはとても大変でした。引っ越した後も、大阪弁が全然わからず、最初は会話についていくのに苦労しました。

大阪での生活にも少しずつ慣れ、気付けば大阪が好きになっていた頃、柏に戻ることになりました。4年間の大阪暮らしはとても楽しく、思い出がたくさんできました。

柏に戻ってきてからは、東横インというビジネスホテルで、ベッドメイクの仕事をしています。

ベッドメイクとは、ベッドを清潔で快適に整える仕事です。働いて4年間が経ちますが、まさか自分が誰よりも早く仕事ができるようになるとは、驚きです。気付けば、仲間から「スーパーメイク」と呼ばれるようになり、自分でも成長を実感しています。

4年前には日本語能力試験のN2に合格しましたが、去年チャレンジしたN1は不合格でした。

再チャレンジしたいと思っているのですが、レベルが高く感じられ、特に読解問題に苦戦しています。

やる気が出ない日もあるのですが、コツコツ勉強して、近いうちにN1に合格したいです。